

喘息診療医療連携（パートナーリング）の会

日時 2021年6月2日(水) 19:30～20:40

会場 オンラインツール『ZOOM』上で開催
役割医師: ホテル KSP「701 会議室」より発信

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、下記の通り呼吸器領域における聖マリアンナ医科大学周辺エリアでの連携会を開催させて頂く運びとなりました。

このような情勢ではございますが、いつも以上に地域での情報共有や協力体制が必要な状況と拝察いたします。PC やタブレット・スマホなどでご参加可能となりますので是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。

PROGRAM

LECTURE
19:30～20:00

「重症喘息治療のアップデート」

座長

鎌田 正広先生 鎌田クリニック 院長

演者

半田 寛先生 聖マリアンナ医科大学 呼吸器内科 講師

DISCUSSION
20:00～20:40

「喘息治療の地域での円環」

座長

峯下 昌道先生 聖マリアンナ医科大学 呼吸器内科 教授

パネリスト

栗生 和幸先生 くりう内科クリニック 院長

福西 康夫先生 福西内科クリニック 院長

阿座上 真哉先生 聖マリアンナ医科大学 呼吸器内科 助教

主催 アストラゼネカ株式会社

症例

75歳 女性

【主 訴】 現在は落ち着き症状など無いが、ステロイドの減量は希望

【既往歴】 なし

【職 業】 主婦

【生活歴】 ペット:なし、喫煙:なし

【アレルギー】 なし

【現病歴】 40代発症の気管支喘息。当院受診開始翌年よりステロイドの内服継続が必要となり、その後も治療変更を繰り返しながらも年に数度はattackがあり。昨年も喘息による緊急受診歴有り。23年ほど継続で通院されている患者さん。

【身長・体重】 身長:148cm、体重:65 kg

【治療薬】 高用量ICS/LABA/LAMA、LTRA 経口ステロイド薬頓用20mg × 7Day

【バイオマーカー値】

総IgE:213、血中好酸球:21.5%



近年での経過

20年前 脳梗塞発症(右不全麻痺)



10年前 DM発症



この間、喘息治療に関しては吸入薬の見直しなどを行うも年に数回のattackが出現し経口ステロイドの継続や頓用、時に点滴ステロイドを必要とした。

R1年 聖マリアンナ医科大学へBT(気管支サーモプラスティ)での御高診依頼
ICS/LABAの変更により軽快し吸入の減量やプレドニンの中止もできたため経過を見ることに



R2年 再びattack出現、プレドニン(5mg)4T/2×7Day 再投与開始



R3年 2月・4月とattackがありDIV施行。ICS/LABAをトリプル製剤に治療強化

【現治療】

テオドール (200) 2T/2×
バイアスピリン (100) 1T/1×
アムロジンOD (5) 1T/1×
キプレス (10) 1T/1×
ジャヌビア (25) 1T/1×

リバロ (2) 1T/1×
テリルジー (200) 1日1回
メプチンエアー
プレドニン (5) 6T/3×7Day

検査所見

		2020/12月
WBC		9200/ μ l
分画	好中球	不明
	好酸球	21.5%(1978/ μ l)
血清総IgE		測定なし

2018年5月	2019年1月	2019年7月	2019年11月	2020年6月
8200	8000	9200	12100	7600
60.2%	58.2%	54.9%	77.6%	54.6%
7.7%	4.5%	10.9%	2.8%	9.1%
—	—	213U/ml	—	—